

ジャルパックでは、今般、健康経営責任者として私が先頭に立ち、皆さんとともに、健康経営を推進していくこととしました。健康経営を推進する上で大切なことは、全社員がその必要性を理解し、全員参加することであり、そのために私自身の決意について伝えさせていただきます。

「ジャルパックは日本の旅行・観光業界の変革と発展を常にリードする輝いた存在でありたい」社長就任時にみなさんへ私からのメッセージを発信いたしました。この目標は、社員のみなさんひとり一人が輝いた存在でなければ、成り立ちませんし、何より社員のみなさんとそのご家族の健康こそが輝きの源となります。

「健康は個人の問題」、「個人の健康管理について会社からとやかく言われたくない」といった考え方の人もいるかもしれません。しかし、JAL グループの企業理念「全社員の物心両面の幸福追求」には「心身の健康」が不可欠であることは理解いただけると思います。また、「いい旅、あたらしい旅」の提供を通じて、お客様に笑顔と幸せを届けるジャルパックの社員自身が「心身ならびに社会的な健康(*)」を享受していなければ、本当に良い商品やサービスを永続的に提供し続けることはできません。

社員みなさんが明るく、笑顔で誇りとやりがいをもって業務に取り組める環境作り、そして社員、ご家族の健康作りのサポートを全社をあげて推進していきます。
このジャルパックにおいて、健康で笑顔にあふれる職場づくりを、一緒になって取り組んでいきましょう。

株式会社ジャルパック
代表取締役社長

江利川 宗光



(*) 世界保健機関(WHO)では、健康の定義を「単に病気ではないと言うことでなく、肉体的、精神的、そして社会的に健全で満たされた状態」としています。

ジャルパック健康経営の取り組み

- 働き方改革推進メンバーによる委員会 WHIP (Work and Holiday Innovation Project) を立ち上げ、柔軟な働き方と心身の健康増進の両輪の取り組みを推進していきます。
- 重点項目として「生活習慣病」「がん」「メンタルヘルス」「たばこ対策」「女性の健康」を掲げます。
- さらに「食生活」「睡眠」「運動」における個人の健康意識向上に向けた積極的な働きかけを行います。
- 健康診断、ストレスチェックの結果を踏まえ、社員が必要なサポートを積極的に行います。